

■ 「立川市公共下水道緑川幹線改築（長寿命化対策）第6期工事」
「立川市公共下水道緑川幹線改築（長寿命化対策）第6期工事その2」の工事説明会

標記の説明会における質疑応答において、皆さまからご質問やご意見をいただきました。いただいたご質問やご意見について、市の考え方を次のとおりまとめました。今後の事業を進める上で参考とさせていただきます。また、貴重なご意見等ありがとうございました。

説明会の日時 令和5年9月22日（金）19時から
令和5年9月23日（土）10時から

- ◆ 場 所 たましんRISURUホール5階第1会議室
- ◆ 参 加 者 2名（22日）
4名（23日）

主な意見と市の考え方

番号	意見等の概要	市の考え方
1	➤ 緑川幹線で今まで大雨等により下水が溢れたことはあるか。	➤ 過去20年は発生していません。
2	➤ 2つの工事で同一工法であるが、受注者が異なるのはなぜか。	➤ 単年度施工可能な延長かつ現場が離れていることから、2つに分けて発注しました。
3	➤ 改築後、製管材と裏込め材により管が小さくなるが、下水を流す能力に問題は無いのか。	➤ 既設の管はコンクリート製で表面がざらざらしているが、改築後の管は強化プラスチック製の材料であるため表面が滑らかになります。その結果、同じ傾斜でも下水が流れやすくなるため、下水を流す能力は既設の管と同等以上を確保しています。

4	<p>➤ 工事車両が現場周辺を往来する台数と頻度はどのくらいか。</p>	<p>➤ 【第6期工事その2】 作業帯内の車両は基本的には移動しません。材料の運搬等で2～3回/日の移動はあります。作業工程にもよりますが、使用車両が多い時で最大5台、標準的には4台の車両を使用します。</p> <p>【第6期工事】 台数・頻度は第6期工事その2と同様です。曙三第二公園内の常設作業帯への出入りは、工事用に借地している隣接の土地または下水道管理用地からとしており、公園利用者の安全を確保します。</p>
5	<p>➤ 公園は工事後いつまで利用可能か。</p>	<p>➤ 本工事後、曙三第二公園から西に向かって、開削によって既設管を撤去し、新しい管を布設する布設替え工事を予定しています。その際、仮設設備や作業帯のスペースとして、第三者災害防止のためにも公園が使用できなくなります。</p> <p>利用可能期間としては、令和6年度末までを予定しています。</p>
6	<p>➤ 地下での工事だが、振動・騒音など周囲への影響はあるか。</p>	<p>➤ 振動・騒音による地上への影響は少ないと考えています。しかし、地上で発電機等を使用している際は音が発生してしましますが、日常で車両が通行するときと同等の音と思われます。</p> <p>これまで同工法による改築工事を実施してきましたが、大きな振動は感じていません。音に関しては、多少漏れて聞こえることはありますが大きな音ではありません。</p>
7	<p>➤ 6小近くの「第6期工事その2」は小学校だけでなく、スーパーマーケット「サミット」が隣接している。児童やサミットのお客さんの出入りに対して、どういった対応をとるのか。サミット出入口は車両・自転車・歩行者が多いので安全について最大限の配慮をお願いします。</p>	<p>➤ 作業帯・横断歩道には交通誘導警備員を配置して、安全に誘導します。作業帯の交通誘導警備員はサミット出入口付近に配置し、作業車を必要最小限にして事故が発生しないよう注意します。</p> <p>その上で、危険性が感じられれば、交通誘導警備員を増員するなど検討していきます。</p>
8	<p>➤ 公園内の遊具は今年度は使用できるか。</p>	<p>➤ 公園内の常設作業帯は遊具を避けて設置するため、常設作業帯以外の範囲は使用できます。</p>

9	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 強化プラスチック製の管は現在の主流なのか今回の工法によるものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 強化プラスチック以外にも様々な材料がありますが、今回の工法では強化プラスチックを使用します。
10	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 強化プラスチックの使用により、水が汚染されることは無いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ これまで本工法での工事を経験してきて、水が汚染されたという報告は聞いていません。材料は認定された工場で作成されており、品質に問題はないと考えています。
11	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 本工法のコストは高いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 材料としては高価だが、振動・騒音等の周囲への影響は少ないと考えます。
12	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 改築後の管の寿命はどのくらいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 標準的には50年として計画しています。
13	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 改築後50年経過したときはどうするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現在のところ、今回の工法で改築後さらに50年経過した例は未だありません。工法としても、改築後さらに50年経過して老朽化した管を改築する工法は開発されていません。
14	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アートアベニュー立川（UR団地）で工事中であることと周辺の住民があげぼの保育園の送迎で待機していることがあるので、団地周辺での工事関連車両の待機は控えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 材料の搬入・搬出及び作業員等の通勤車両等についても待機させません。その旨、工事関連業者及び現場内周知します。
15	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 曙三第二公園西側出入口の砂場が撤去されたのはなぜか。工事後に復旧されるのか。公園緑地課は了承したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公園緑地課と事前に相談して、工事の事前処置として撤去を行いました。公園内常設作業帯を設置することにより、公園利用者の出入りする通路が狭くなるなどの支障があったため、撤去することとなりました。工事後の復旧に関しては、公園緑地課と協議していきます。その他の遊具は可能な限り使用できる形で残しています。
16	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今回工事では、地上での作業は無いが作業帯の面積が広すぎではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 換気だけでなく、材料・人の出入りのために資材のような作業帯が必要です。公園利用者の安全確保のためにも資材の範囲での作業帯設置にご理解いただくと幸いです。 材料等は基本的に工事用に借地している隣接の土地から作業帯内へ搬入するので、公園は安全に利用いただけます。 受注者との打合せの中で、安全確保できる範囲で作業帯を小さくできるようであれば検討していきます。

17	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今後の工事や公園に関する窓口は課長で良いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 組織として対応していきますので、担当職員または受注者にご連絡ください。内容については、担当からの報告が挙がるので、そこで把握していきます。
18	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公園内作業帯 2 箇所はどのように囲うのか。児童が隙間から入らないよう、台風等で倒れないよう対策してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 高さ 1.8m ほどの板で隙間なく囲い、強度のある囲いをします。
19	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 北側(元競輪選手駐車場)に公園ができたが、砂場・遊具・日差し避けがないので子供の遊ぶ場を増やしてほしいと公園緑地課に伝えてもらいたい。今の子供が大きくなってから作っても意味がないので早急をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公園緑地課に伝えておきます。
20	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 説明会を開くのが遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 説明会開催が遅くなったこと、大変申し訳ございません。今後、早期開催できるよう努めていきます。
21	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大雨に対する対策は下水でできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 現状、50 mm/時間の雨に対応しているが、それ以上の豪雨も発生してきています。豪雨に対する対策も下水の役割と認識していて、現在、浸水シミュレーションを委託業務で検証していくところであり、検証の結果、危険箇所を特定し、対策を検討していきます。